

第 1 回 幌 延 町 教 育 委 員 会 議 会 議 録

日 程	令和 5 年 1 月 18 日	開会 11 時 30 分 閉会 12 時 33 分	場 所	役 場 3 階 委 員 会 議 室
出席委員	委員 澤 谷 敦 美	委員 佐 藤 友 子	参 与	伊藤教育次長 田村主幹 会議録作成者 樁係長
	委員 堀 英 夫	教育長 青 木 順 一		
	委員 前 田 雅 信			
青木教育長	<p>それでは、ただ今から第1回、幌延町教育委員会議を開会いたします。</p> <p>本日の出席教育委員さんは、4名ということです。</p> <p>会議時間の決定につきましては、大体30分程度を目途に進めていきたいと考えております。ご協力お願いいたします。</p> <p>前回会議録の署名につきましては、出席委員にいただきました。</p> <p>本日の会議録作成者の指名につきましては、総務学校グループ樁係長にお願いしております。</p> <p>諸般の報告につきましては、議案書の会議日程表の次のページに紙面において、報告としたいと思っております。</p> <p>協議事項に入る前に、私の方から挨拶ということでお話をしたいなと思っております。レジュメというのがございますか。ちょっと長くなるかもしれませんが、よろしくお願ひしたいと思います。</p> <p>改めましてこの場で、こうやって会うのは、新年始めましてということで、今年もまたよろしくお願ひいたします。こうして、新年を迎えられたことですね本当に喜ばしく感じております。今年もよろしくお願ひいたします。</p> <p>まだまだ新型コロナウイルス、そしてインフルエンザも同時流行ということで、昨日、全ての学校始まりましたので、今後どう動いていくのか、これはコロナなのかこれはインフルなのかというその見極めも、ちょっとこれから大変かなと思っておりますけど、教育委員会としても学校をバックアップしていきたいと考えております。</p> <p>こういう状況の中ですけれども、新年の訓示をこの前、教育委員会の事務局に行いました。そして、お願ひを1つさせていただいたのですが、それはですね、来年度の事業を、これを少し、見直していきませんかということで、つまり、前例踏襲はちょっとやめにして、1つ1つの事業を目的に照らして吟味してほしいということで、お願ひをしております。</p> <p>今日この挨拶の中でですね、3つお話ししたいなと思ひまして、レジュメに沿ってですけども、1つ目が令和5年度来年度の教育目標、幌延町の教育目標と、令和5年度の幌延町教育行政執行方針、これは3月議会で、話をしなきゃならないのですが、これについて、教育委員さんの方にですね、周知というか、説明したいなと考えております。</p> <p>2点目が、令和5年度の幌延町の4大スポーツ大会、これについて、ちょっと考えていく必要があるのかなと思ひてですね、今日、皆さんに投げかけたいなと思ひますので、次の教育委員会でもいいですので反応していただければなど。</p> <p>最後、3つ目が小中一貫教育についてということで、いろいろ12月議会でお話をし、道新にでかでかと、何であんなに大きく出るのかなと思ひうぐらいですね、出たのですが、その辺で、小中一貫教育について</p>			

てお話をしたいなと考えています。

まず最初に、令和5年度の幌延町教育目標案ということで、資料の1ページ目ご覧になっていただきたいのですが、これが今の幌延町の教育目標となっております。1番下のほう見ると、改定が平成5年なんです。今、令和5年なんです。ですから、かなりですね、経っております。これを改定していかなきゃ駄目かなと。生命を尊び、健康でたくましく生きる人とかですね。心豊かで、学び続けるとか、勤労意欲、郷土愛っていうふうなこういう項立てで行ってるんですけども、最近こういう項建てしてるところがちょっと少なくなってきました。

それで来年度の目標ですけども、次のページをご覧になっていただくと、ちょっと考えてみたんですけども、よく言われるSDGsじゃないですけども、ちょうど真ん中に、持続可能な社会の創り手、こういう子どももそうですし大人もそうですし、そういう創り手を育てていきたいなど。それを支える3つのキーワードを、自律・尊重・協働というふうにしました。これは全てですね、学校教育法、右の上にありますけどもそこに自立という言葉が出てきますし、学習指導要領、今回新しくなったところでは自律的に判断し決断したことを積極的に、かつ誠実に実行しできる、そういう人間であってほしいということが書かれてたりとか、令和の日本型学校教育、中教審なんですね、これの答申では、課題を見出し、主体的に考え云々ということが言われておりますので、トータルして、どの答申、そういうのを見ても、持続可能な社会の創り手、こういう子供たちを育てていこう、そのためには、自立していかなきゃなんないね、自律って簡単に言うと、自ら気付いて判断し行動する、そして困ったときですね、つまりいたとき、そういうときには、周りを頼る、そういうのが自律。尊重というのは、やっぱりいろいろな人たちと関わりますので、子供たちはやっぱり、周りの子供たちを尊重していくと。協働は今言ったとおり、一緒にですね、将来、これからどうなるか分からないSociety5.0とかって言ってますけども、そういう時代を切り開いていくと。そういう時代を切り開いていくために1人1人の子供たち、また大人もそうですけども、自分のよさや可能性を認識するとともに、下に書いてありますけれども、あらゆる他者をですね、価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら、様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り開き、持続可能な社会の創り手となることができるよう、その資質能力を育成することが求められる。ですので、来年度このような目標で進んでいきたいなど。

あと校長会議、教頭会議でも、12月の校長会、教頭会議でこれを1回投げかけてますので、今回明日、校長会がありますけども、1月11日までは何かあったらお知らせくださいねって言ったんですけども、あまり何も反応がなかったの、このまま進みたいなと考えております。

この行事ってというのは、自立して、自ら考え判断決定行動しているものかな。

いろいろな教室もやっています。これも他者を尊重して、そういう子供たち、何か喧嘩があっても、きちんと相手を尊重しながら折り合いをつけて、そういう子供たちに育てているかな。

いろんな催物もあります。学校では授業というのがありますので、これも多様な人と協働しながら、豊かな人生を切り開く子どもになってるかどうか。

この3つのキーワードでぐるぐる回してですね、いきたいなと考えております。さらに教育基本法、学習指導要領答申、そういうものが変わってきておりますので、レジュメのほうにも書いてありますけども、ちょっと昭和の香りのするものがまだ若干残ってるものもあるのかなと。それがですね、ちょうど30年以上前にはもっと子供たちもたくさんいて、多くの先生方もいて、教育委員会にもいろんな人がいて、今は少ない人数なんですね、子供たちも少ない。その当時のものをそのまんま

行っていくと、はばけてしまうということで。いろんなことをやらなきゃならなくて、時間がかかって成果も余りないということに繋がってしまいます。ですので、その辺もちょっと検討していく必要があるなということですね、改める、見直していこうということで話をしています。

3ページからですけども、執行方針です。これも校長先生や教頭先生にも見ていただきまして、あと次長にも今見ていただいているところなんですけども、こちらのほうをちょっと説明すると大変なことになりますので、ご覧になっていただきたいなと思っております。7ページまでですね。是非、中を見て、ご意見等あれば、まだ3月議会までまだありますので、これ付け加えたほうがいいんじゃないかとかですね、この部分どうなんだろうという、何か質問あれば、気軽にいつも、教育長室空いてますし、メールでもLINEでもいいですので、ここ、どうなってんのかということ聞いていただければなと思っております。

これがまず1つ目ですね、大きいところで教育目標と執行方針になります。

それと2点目です。令和5年度の4大スポーツ大会ということで水泳大会、マラソン大会、陸上記録会、スキー大会、幌延町で、これを行います。

小学校でやる体育と、今までやってた4つの大きな大会、これとの、ギャップがあります。何でかという、例えばマラソン大会、今までマラソン大会は、小学校1・2年生が2キロ、3・4年生が3キロ、5・6年生が4キロ、とかですね、というふうになったんですね。でも、小学校の学習指導要領の体育ですね、例えば、低学年中学年、資料はないのですけれども、低学年中学年は、持久走出てこないんですよ。だから、簡単に言うと走らなくても。高学年でやると、無理のない速さで、5・6分程度の持久走をする、これが5・6年生なんです。

ですから小学校はここまでしか教えないんですけども、実際、マラソン大会、去年並みにやると5・6分程度ゆっくり景色を楽しみながら走るっていうのがちょっと合わないんですね。

低学年は持久走というのは、そこまで書かれてないということなので、マラソン大会自体を少し考えて、工夫していく必要があるのかな。これも明日の校長会議で、体育が2人いますから、2人の校長、あと佐藤教頭先生も体育です。中身を考えてということで、投げかけたいと考えておりますので、若干マラソン大会では見直しを図られるかなと思っております。

資料に付いてるのが、確か、8ページですね。陸上の内容です。昔の体育とは、全然違いますよね。

何でかという、体育嫌いを減らすために、があるんですね。

あともう1つは、生涯にわたって豊かなスポーツライフを送ってほしいなあっていうのがあるので、あまり厳しい体育っていうか、それは載せてないんです。

それで例えば陸上記録会、これに対しては、たしか、1年生が80メートル、2年生が80メートル、3年生が100メートル、徒競走ですね。5年生6年生も100メートル。女子に関しては4年生が800メートルとか、5・6年生、あと1000メートルとか400メートルリレーが3年から6年生、フィールド競技は、走り幅跳び、走り高跳び、ソフトボール投げっていうことで組まれてるんですけども、今言った、例えば低学年80メートル、ちょっと8ページの低学年のかけっこっていうところ見ていただくとですね、何メートルか。それで、30から40メートル程度のかけっこって書いてある。これを小学校で低学年でやってくださいね。中学年は30から50でいいですよ。高学年は40から60の短距離競争、リレーも走る距離は40から60ですよ。テイクオーバーゾーンというのがあって、そこをね、教えてください。

中学校のほう、1番右側ですね、そこでやると長距離走というのが出

	<p>てきて、1000メートルから3000メートル、これをやってくださいねということなんです。</p> <p>ということは、この陸上記録会も、小学校ではこれしかやってないんだけど実際に走らせるっていう距離とギャップが出てきてしまって、ということなんでこの競技会も少し見直しを図っていかなきゃならないかな。そこまでしか教えてないですかね、教えてる以上のことをやらせるということになりますので、それと次のページご覧になっていただきたいのが水泳です。</p> <p>水泳って体育でどのぐらいまで教えているのか、小学生です。これです、小学校中学校も入ってますけども、これからいくとですね、今までの、水泳大会っていうのが、幌延町でも、実際にやられてるんですけども、必修競技ですね、小学校1年生15メートルビート板、小学校2年生15メートルビート板、小3、15メートル自由形、小4、15メートル自由形、小5・6、25メートル自由形、プラス、小学校1年生、15メートル自由形、3・4年生25メートル自由形、選択競技では、小学校1・2年生25メートル自由形などって書かれていて、これを見て、大分ギャップがあります。</p> <p>次、スキー大会は、積極的にやってくださいっていうことが書いてありますので、スキー大会自体はそんなに変わらないということになります。</p> <p>まず、4大スポーツ大会について、今後、来年度は見直しを図っていききたいと考えております。</p> <p>最後、小中一貫教育について12月議会で議論させていただきました。令和9年の開校を今目指しているところです。あとアンケートですね、これから実施していきたいなど。2月に町政懇談会がありますので、そこで、一貫教育については、住民の方にお話ししたいなど。</p> <p>あと視察ですね、雨竜町小中、施設一体型、あと当別町は出来たばかりです、義務教育学校ですね。この2町に行きたいなど今考えてます。</p> <p>3月議会で進捗状況をお話ししたいと思います。</p> <p>以上ちょっと長く説明してしまいましたけれども、何かございますか。また次の教育委員会の議題っていうか、協議事項にもしたいと思うんですが、今聞いた感想何かありますか。</p>
澤谷委員	<p>これもし、そういうふうに改正っていうか、変えていくってことになると、段階的ではなくても急に、もう今年からはこうですよみたいな感じに考えてるってことですか。</p>
青木教育長	<p>多分ですね、小学校の教育課程が変わり、今教育課程を編成しているんで、このままでいくと、いきなり、何も練習してないところで、記録会で100走りなさいとかっていうことはちょっと出来ないと思うんですよ。</p> <p>ですから、今、委員が言われたとおり、段階的にはできると思うんですね。100を、例えば80にしたりとか、50にしたりとかっていうふうにして、少し変えていくっていう、そこを、校長教頭にちょっと投げたいんです。</p> <p>また委員会でこうなさいって言ったら、やらされ感があると思いますので、先生方にちょっと当事者意識を持って考えてもらいたいなど。</p>
佐藤委員	<p>結局は、中身を変えるところではなくてもう、やっぱりやることが全然大会とは全く違うところをやっているんで、大会自体がやっぱりなくなるっていうことになるっていうことですよ。</p>
青木教育長	<p>そうですね、その辺も少し考えていく必要があるのかなあ。</p>

<p>佐藤委員</p>	<p>例えば、記録会っていうのが、ソフトボール投げとかっていうのが入ってるんですけど、今小学校、中学校では、新体力テストっていうのをやって、50メートル走とか、これ全国でやってるんですけど、それとすごく似てるんですよ。</p> <p>ですから普段、小学校の体育でやってるものの例えば1番最後に発表会みたいなものにして、それに変わるっていうこともできるのかなと。</p> <p>保護者の方はそういうのを楽しみにしている保護者の方もいらっしゃると思うので、何かやっぱり説明か何か保護者の方に、こういう流れでこうなりましたっていう、ご説明もやっぱりあったほうが、いきなり変わるのちょっと、うんと思うので、その辺できるんでしょうかね、学校側は。</p>
<p>青木教育長</p>	<p>小学校長から言われたんですよ。ですから、体育の専門ですから。多分説明はきちんとしていただいてですね、保護者の方にも、理解していただけるんじゃないかなと思いますので。</p>
<p>澤谷委員</p>	<p>多分この4つって全部、今までの記録っていうのがあって、それを更新しようっていう子供たちもちろん中には、やっぱり運動できる子はそういうのを楽しみにしてる子もいると思うんですよ。</p> <p>だからそれが急に今年はやらないよとか、今年は100メートルじゃなくて50メートルだよとか、そういうふうになったときの子どものショックでもないですけど多分そういう子も中には出てくるんじゃないかなあと思うし、多分、こういうふうに変ったっていうことも多分親もあんまり、私たちもそうですけど親もあまり分かってない部分もありますよね。</p> <p>だからやっぱりさっき佐藤さん言われたように、子どもにも、保護者にも説明はすごく必要だなと思います。</p>
<p>青木教育長</p>	<p>そのとおりですね、今のは学習指導要領からとったもんなんですけど、これ見ただけでも分かると思うんですよ、今、体育って今こんだけしかやってない、生ぬるいなと思うかもしれないですけど、そういうふうな今時代になってるんだなということを理解してもらって、きちんと4月かそのぐらいになるかなと思うんですけど、総会とかね、そういうのを使ったりとか、学校だよりとか使いながら、周知を図って、理解してもらってっていうことを今、考えておりますので。</p> <p>記録なんですけど、新体力テストともし同じくしたら、2年生のときと3年生は比べられるんですよ。3年生4年生5年生、同じ種目やってますから、だから、6年生になって中学校になって、こんだけ自分の体力が伸びたんだっていうところは実感できますので。</p> <p>ただ今言われたように、町民の方とか子供たちが、ちょっと記録がどのぐらい伸びたかっていうのも加味していくと、ちょっとずつ変えていく必要があるのかなっていう気がします。</p>
<p>佐藤委員</p>	<p>マラソン大会は町主体っていうか、町民の方も出るので、これは、学校側でなく個人で子供たちは出るって感じで、もしかしたらそうなる可能性もありますよね。なくすのはちょっとマラソン大会が。</p>
<p>青木教育長</p>	<p>一応、校長先生から言われて、あとはこういう開催要項とか見てて、マラソン大会は町主体だし、ここにオープンって書いたんですけど、オープン参加だなどと思ってですね、そのとおり考えておりました。</p>
<p>佐藤委員</p>	<p>今後は、ちょっと小規模になってしまう可能性もあるかなあとは思いますが、参加を促すような何かをしていかないと最後はなくなってし</p>

青木教育長	<p>もう大会になっちゃうのかなと思ったり、それはそれで町はどう考えてるのかなっていうのもありました。</p> <p>マラソン大会については、距離もそうですけど、ウォーキングとかね、親子で走ったりとか選択制っていうか、そういうのを考えていうん必要はあるのかな。</p> <p>2月の教育委員会議の宿題にしておきます。</p>
前田委員	<p>2月の雨竜町の視察なんですけど、これはどなたが行かれるんですか。</p>
伊藤次長	<p>一応日程としては2月の20日の週で予定したいなとは思ってまして、行ける委員さん方に行っていただければなとは考えております。あと校長先生方と委員会の事務局では教育長、私、椿あたりが、1台のバスに乗って行ければなと考えております。2月の20日の週1泊2日になります。2か所なので、場所も離れてるので、宿泊場所とかもこれからなんですけど、一応予定していただければなと考えております。日程的にいかがでしょうか。13の週で1泊2日で先方と調整したいなあと思ってるのでよろしくお願いします。</p>
青木教育長	<p>あと、他よろしいですか。</p>
各委員	<p>はい。</p>
青木教育長	<p>それでは、協議事項に入りたいと思います。</p> <p>今回はですね、協議事項が2件ということであります。</p> <p>まず協議案第1号ですね、令和4年度全国体力運動能力運動習慣等調査北海道版結果報告書への市町村別結果の掲載について上程いたしますので、事務局の説明をお願いします。</p>
伊藤次長	<p>本件は、北海道教育委員会が、令和4年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査に関する実施要領に基づき、市町村別の結果を「北海道版結果報告書」へ掲載し、公表することについて、各市町村教育委員会の同意を求めるものであります。</p> <p>本調査は、全国の小学5年生と中学2年生の全員を対象に、握力や上体起こし、シャトルラン、ソフトボール投げ等の種目を行うもので、「北海道版結果報告書」への掲載内容は、全国学力・学習状況調査と同様、調査結果を基に「道教委による市町村名を明らかにした公表の基本フォーマット」により市町村単位で作成された資料が掲載されるものです。</p> <p>お配りしているレーザーチャートの方をご覧ください。</p> <p>本年度実施した分析結果については、まだですね、現段階で公表されておりませんので、今年度の分についてはまだお示しすることが出来ないんですけれども、参考までに掲載事例ということで、こちらのほう、令和3年度ですね、掲載内容をお手元にお配りしております。</p> <p>このような形で、令和4年度の結果がですね、乗る形になりますので、掲載への同意の可否について、ご協議をしていただければと思います。よろしく願いいたします。以上です。</p>
青木教育長	<p>ただ今、説明がございました協議案第1号につきまして、ご質問あるいはご意見がございましたらお受けいたしたいと思っております。</p>
伊藤次長	<p>附則なんですけども、大体例年ですね、まだ結果が出るのがですね、1月とかになってしまうんですけれども、同意だけは先にくださいというもんですから、これで同意していただければですね、今年は、問寒別は</p>

	<p>5年生いないので、5年生については、幌延小学校のみ、中2にはいるので、問寒別中と幌中、中学校2年生の方は、両方の学校の結果が出てくるとは思います。</p> <p>広報に載るのはですね、5月号になるかな。</p>
佐藤委員	<p>問寒別の中2の子は1人ですよ。問寒別と幌中は別で載せるっていうことでいう感じですよ。</p>
伊藤次長	<p>小学校と中学校でそれぞれレーダーチャートが分かれるので、学校ごとのやつは乗らないです。町としては出ます。</p>
青木教育長	<p>それでは、議案第1号についてですね、原案のとおり決定することにご異議ございませんか。</p>
各委員	<p>はい。</p>
青木教育長	<p>異議なしと認めまして原案のとおり決定させていただきます。</p> <p>続いて、協議案第2号ですね。</p> <p>幌延町文化スポーツ大会等参加補助金交付要綱の一部を改正する訓令の制定についてこれを上程いたしますので、事務局の説明をお願いいたします。</p>
田村主幹	<p>協議案第2号「幌延町文化・スポーツ大会等参加補助金交付要綱の一部を改正する訓令の制定について」、事務局より、ご説明申し上げます。</p> <p>本要綱につきましては、「青少年の健全育成及び文化・スポーツ等における活動の普及発展と明るく豊かな町民生活の向上を図るため、スポーツ部門・文化部門において優秀な成績を収め、全国大会、全道大会のスポーツ大会、発表会等（以下「スポーツ大会等」という。）に出場・参加する個人または団体に対し、補助金を交付するものとし、その交付については、幌延町補助金交付規則（平成8年規則第1号。以下「規則」という。）に定めるもののほか、必要な事項を定めているところです。</p> <p>令和4年8月の教育委員会議にて、全道大会への補助金額を算定する際に、開催地や大会終了時刻、それに伴う前後泊等、様々なパターンが想定し一部改正したところですが、その後のスポーツ大会等において、改めて手続きの円滑な遂行を図るため、文言の整理を行う必要が生じたことから、本規程を改正するものであります。</p> <p>具体的には、バレーボール少年団が出場した道北大会が北海道大会に位置付けられていることから、北海道大会と同等に取り扱うため、また、ピアノコンクール全国大会に出場の際、発表会のステージ上での指導者による補助が認めておらず保護者が帯同しなければならない、といった状況等に対応するためです。</p> <p>お手元の【協議案第2号資料 新旧対照表】とあわせてご覧ください。第1条中「全国大会、全道大会」を「道北大会、北海道大会、全国大会」に改めております。</p> <p>第2条第1項中「予選会を経て出場する北海道大会、全国大会等」を「予選大会を経て出場する道北大会、北海道大会、全国大会等」に改めております。</p> <p>第3条第1項中「地区や支部並びに」の次に「道北」を加え、同項第1号中「地区や支部の予選大会」の次に「道北大会」を加え、同項第2号中「地区や支部」の次に「道北」を加え、同条第2項中「指導者が帯同しない場合」を「指導者が帯同しない場合等」に改めております</p> <p>第5条関係の別表中「全道大会」を「道北大会、北海道大会」に改め、「宿泊を伴う場合」を「宿泊を認める場合」に改め、「宿泊を伴わない</p>

<p>青木教育長</p>	<p>場合」を「宿泊を認めない場合」に改め、各補助金額の次に「(上限)」を加えております。</p> <p>次に附則ですが、この規則は、公布の日から施行し、令和4年10月1日に遡及して適用することとしております。</p> <p>以上、協議案第2号の説明といたします。ご協議のほどよろしく願います。</p> <p>ただ今説明がございました協議案第2号につきましてご質問あるいはご意見がございましたらお受けしたいと思っております。よろしくお願いいたします。</p>
<p>澤谷委員</p>	<p>道北大会で勝ち上がって全国大会につながる大会という意味の道北大会でよろしいんですね。</p>
<p>田村主幹</p>	<p>道北大会がですね、稚内地区の支部を勝ち上がって出る大会なんですけども、その道北大会が既に全道大会に位置付けられておまして、これまでは宿泊を伴う全道についての、宿泊を伴わない全道大会についての補助はなかったんですが、今回の改正で、日帰り、あと宿泊を伴う場合に出すようになっております。</p> <p>昨年度も出てたんですけども、そのときは日帰りをしていたので、補助対象にしていなかったんですが、今年度は、補助対象となっております、その次に選抜優勝大会というのがあるので、一連の大会と思われるんですが、道北大会を全道大会に位置付けて、各道南、道東とやってくるんですけども、代表チームがまた新たに選抜された大会が、選抜優勝大会ということで、どちらも全道大会に位置付いた大会というところで、選抜優勝会だけ出せばいいのではないかということもあったんですけども、主催者に聞くと両方もどちらとも全道大会に位置付いているというところで、名前が道北大会だと北海道大会と扱うのはどうなんだろうという意見がありましたので、今回道北大会とバレーに限定したような表現になってしまったんですが、こういう形で見直しをして今後また似たようなものが出てきたときにはまた表現は、変えていかなきゃいけないかなと思うんですけども、そういう経緯もありまして、今回あげているところですね。</p>
<p>澤谷委員</p>	<p>はい、よく分かりました。結構複雑ですよね、その大会によってね、呼び名も違いますし、でもやっぱり保護者さんの負担が少しでも減るように、こういうふうに、ちゃんと文言を変えて、分かりやすくしてるのはよろしいんじゃないかなと思います。</p>
<p>佐藤委員</p>	<p>結局、今の話でいきますと、道北大会、北海道大会は全部全国大会に通じる大会だっていうことですよ。</p> <p>そういうことだから、括弧して説明的なものは載せなくても、何かこれから何か出てきたとき、そのままでいいのかなと思ってしまうんですけど。</p>
<p>田村主幹</p>	<p>括弧書きという書き方もですね、などという表現も検討したんですが、この道北大会と選抜大会については、実は全国大会に繋がる大会ではなくてですね、全道大会につながるのは、野球でいきますと、学童全道少年大会というのが全国大会に繋がります。</p> <p>全道少年野球大会というのは全道だけの大会。バレーでいきますと、この道北大会、選抜優勝大会ということで道内ではあるんですけども、全国に繋がる大会というのが、全日本小学生バレーボール大会と少年団交流大会の2つの大会だけが、全国大会に繋がっているの、複雑な大会の開催方法というののもあってですね、一概に1つの方法で決めきれな</p>

	<p>いなというところで今回はこういう作り方させてもらったんですけども、また今後文化のほうもこの道北大会という表現でいいのかっていう部分も出てきますので、今後またよい名称を検討しながら、先程もいただいたように、参加する子供たちや保護者に負担のあまりかからないようなことで、できるだけ出せるようにしていきたいと思っていますが、今回は一部改正ということでさせていただきたいなと思っています。</p> <p>また、今回全道に行ったときの上限5千円、1万円とありますけども、こちらにつきましても、この規定の中で表記されておりませんが、別にそれぞれですね、委員会で内規っていうのも定めまして、交通費ですとか、宿泊費あと昼食代などですね。</p> <p>いくらまでを上限にっていうのは、算定資料などは内規のほうで進めているところでありますので、それらを計算するときに、上限ということで、5千円、1万円とさせていただいております。</p>
青木教育長	<p>要綱のほうに詳しく書いてありますので。道北、北海道、国の代表として選抜された選手っていうふうになってるので、道北でも全国につながるもの、例えば、別表第5条関係、2ページのところで、道北大会北海道大会等とかにして、括弧して全国につながるものに限るとかっていうような書き方もあるかなと思うんですけど、ただ、そこまでやっちゃうと狭くなっちゃうので。</p> <p>ですから、主幹言われたとおりその都度また検討していきたいなと思います。</p>
各委員	<p>それでは、議案第2号について原案のとおり決定することにご異議はございませんか。</p> <p>はい。</p>
青木教育長	<p>異議なしと認めまして原案のとおり決定させていただきます。</p> <p>以上で提出された案件については、全て終了いたしましたので、第1回教育委員会議を終了させていただきます。</p> <p>以下、余白</p>

上記のとおり調整した。

令和 年 月 日

教育次長

署名

委員

委員

委員

教育長

委員